

夏の生産者交流会 「小川の生きものの観察」



とちぎコープは、毎年「那須山麓土の会」の皆さんと体験型の交流会を開催しています。生産者・組合員・役職員が年間を通じて交流し、作物ができる過程や生産者の想いを知り、食べることの大切さや環境について考える場となっています。

7月27日（日）夏の生産者交流会を開催し、組合員12家族を含む85名が参加しました。「小川の生きものの観察」の講師として「栃木県ながわ水遊園」のスタッフの皆さんにご協力いただきました。

田んぼの近くの小川で生き

ものを探し、採取後は生産者さんのお宅の納屋に持ち帰り、虫ごから透明なケースに移して観察。ながわ水遊園の皆さんが、家族ごとのテーブルをまわり、また、生きものをスクリーンに映しながら名前や特徴を説明しました。ヤゴ・ドジョウ・トウキョウダルマガエル・アカハライモリ・アメリカザリガニなど、小川には多種多様な生きものがいることがわかりました。じっくり観察した後、特定外来種以外の生きものは小川に

戻しました。

その後、春の交流会で植え、自宅で育てたバケツ稲の生育状況を観察。生産者の皆さんから育て方のアドバイスをいただきました。また、田んぼから稲を数本いただいて、茎を裂くと「お米の赤ちゃん」（幼穂）を見ることができました。

お昼には那須山麓土の会が生産している「森の水車米」のおにぎりと塩もみキュウリ、スイカをおいしくいただき、クイズに挑戦したり、アンケートに記入したりして交流会を振り返りました。

秋の交流会は9月。稲刈りをし、バケツ稲の収穫もする予定です。

足尾の植樹体験 & 環境学習会

6月21日(土) 組合員4家族・コープの職員
総勢20名が参加



NPO法人「足尾に緑を育てる会」の皆さんにご協力いただき、銅親水公園（あかがねしんすいこうえん）の近くで植樹をしました。その後、環境学習センターでビデオを視聴したり、ホールにある足元の航空写真地図を見ながら、講師から足尾の煙害や緑を取り戻す活動についての説明を受けました。

参加者より「緑化はまだ50%と聞き驚きました。一度壊した自然は簡単には戻すことはできないのだと思いました」「自分が植えた木の成長を楽しみにしています。また来年も参加したい」といった感想がありました。

環境学習会 in なかがわ水遊園

7月6日(日) 組合員6家族・コープの職員
総勢25名が参加



「なかがわ水遊園」のスタッフの方から、外来生物とは何か？どのようにつきあったらよいか？について教えていただきました。また、とちぎコープの職員がプラスチックゴミによる自然への影響やコープのリサイクル活動について説明しました。

その後、那珂川の河川敷で、増えすぎた特定外来植物（アレチウリ）を駆除。45ℓのゴミ袋で17袋分を駆除することができました。終了後は「なかがわ水遊園」の館内を自由に見学しました。

参加者より「講義だけでなく、実際に外来植物の駆除をしたことで、しっかりと認識することができました」といった感想がありました。